

「地籍測量の手引」(第 8 版・令和 3 年版)の誤りについて

当協会より、令和 3 年 5 月 27 日に発行しました標記について、以下の通り誤りがあることが分かりました。

ご購入いただいた皆様に深くお詫び申し上げますとともに、再発防止に努めてまいります。

誤りがあった箇所

(1) P.68 表 2-2-3 の運用基準別表第 5 記録及び成果 の 2.(4)に誤記があります。

(誤) ③精度管理表

(正) 削除

	(4) 地籍図原図の作成	①筆界点番号図〔準則第 74 条〕 ②筆界点成果簿〔準則第 74 条〕 ③地籍図一覧図〔準則第 74 条〕 ④仮作図〔準則第 74 条〕 ⑤地籍図原図〔準則第 74 条〕 ⑥地籍明細図(必要な場合)〔準則第 75 条〕
--	--------------	--

となります。

(2) P.90 「③観測辺数と位置の精度」に誤記があります。

(誤) 九点

(正) 求点

(3) P.147 図 3-22-5 の TS 法の計算値の制限の印字に以下の通り誤記があります。

新点位置の標準偏差の標高の制限

(誤) 10cm

(正) 20cm

正しいページ表示は、以下となります。

制限項目 精度区分	計算の単位				計算値の制限									
	角値	辺長値	座標値	標高	方向角の 閉合差	座標の 閉合差	閉合比	標高の閉合差		新点位置の標準偏差		単位重量の 標準偏差	高低角の 標準偏差	
								直接法	間接法	水平位置	標高			
甲一	秒位	mm位	mm位	mm位	10 秒 + 15 秒√n	20 mm + 4 mm√5	1/3000 (標準)	150 mm + 15 mm√5	200 mm + 50 mm√7	10 cm	20 cm	20" (標準)	50" (標準)	
甲二	秒位	mm位	mm位	mm位	15 秒 + 20 秒√n	50 mm + 6 mm√5								30" (標準)
甲三	秒位	mm位	mm位	mm位	20 秒 + 30 秒√n	50 mm + 10 mm√5								
乙一	秒位	mm位	mm位	mm位	20 秒 + 45 秒√n	60 mm + 15 mm√5	1/2000 (標準)	150 mm + 30 mm√5	250 mm + 50 mm√7	10 cm	20 cm	20" (標準)	50" (標準)	
乙二	秒位	mm位	mm位	mm位	40 秒 + 55 秒√n	100 mm + 20 mm√5								70" (標準)
乙三	秒位	mm位	mm位	mm位	40 秒 + 65 秒√n	120 mm + 25 mm√5								

(4) P.167 (最下段) 以下の通り誤記です。

(誤) しかし、甲一から乙一までは、D 省略以外でも点検計算は必要で、表 3-23-3 の赤囲みの標高の閉合差が許容範囲内でなければならない。

(正) しかし、甲一から乙一までは、D 省略以外でも点検計算は必要である。この場合表 3-23-3 の赤囲みの標高の閉合差を許容範囲の目安としている。

(5) P.169 図 3-23-17 の精度管理表 (その 3) の印字に以下の通り誤記があります。

細部図根測量精度管理表 (その 3) 高低角の標準偏差の許容範囲 (標準)

(誤) 50"

(正) 70"

正しいページ表示は、以下となります。

細部図根測量精度管理表(その3)								
厳密網平均計算								
単位重量の標準偏差		7.68 " ✓		単位重量の標準偏差の許容範囲(標準)				20 " ✓
高低角の標準偏差		30.22 " ✓		高低角の標準偏差の許容範囲(標準)				70 " ✓
新点の標準偏差								
水平位置の許容範囲			0.100 m ✓			標高の許容範囲		0.200 m ✓
測点名	水平位置 (m)	標高 (m)	測点名	水平位置 (m)	標高 (m)	測点名	水平位置 (m)	標高 (m)
KK-F1-11-1	0.009 ✓	0.009 ✓						

(6) P.177 (最上段) 以下の通り誤記です。

(誤) なお、細部図根点成果簿は、D 省略で精度区分甲一及び甲二以外で標高を求めない場合は、標高改定に関するコメント (以下略)

(正) なお、細部図根点成果簿は、D 省略でも標高を求めない場合は、標高改定に関するコメント (以下略)

以上